

# ひやくさい

2018年(平成30年)5月発行 No.91

福岡県高齢者福祉生活協同組合

〒812-0025 福岡市博多区店屋町3-23

サカビル2F

TEL(092)282-1431 FAX(092)282-1433

発行責任者:理事長 吉野 高幸

編集責任者:広報委員会

Email: ikiiki00@mba.sphere.ne.jp

ふくし生協

検索



## 組合員の皆さんへ

新たな試みとして、これまでお話してきました我が国の介護保険制度の変化（介護保険が医療連携・重度化対応にシフトし、軽度者が切り捨てられる流れ）について、マンガで表現することに挑戦してみました。

組合員の皆さんが日本の社会福祉の情勢を理解するツールとして、また、ふくし生協の事業や活動の理解者を増やすツール（手段）として、ご活用いただければ幸いです。

（尚、作画は本部職員の江島大地さんです）

専務理事 稲月秀雄

## 一考察に基づく…日本の社会福祉 《第1部》新自由主義突入編…趣旨・ストーリー解説

本作は、ふくし生協の組合員だけではなく、まだ私たちの活動をご存知でない方々にも、「地域の課題」について考えていただく“きっかけ”になれば…という趣旨で作成しました。

《第1部》は、“今”の社会保障制度を語る上で、おさえておきたい新自由主義を考え合うための内容となっており、《第2部》以降で深めていただきたい「医療や介護の本質的な問題」の紐解きへと続きます。

さて、《第1部》は「もはや戦後ではない」という表現からスタートします。この時代の背景として、「高度経済成長のきっかけとなった朝鮮戦争」・「東南アジアの戦後賠償の問題」・「沖縄のアメリカ軍基地の問題」など、直接は表現していませんが、今日なお続く、残された様々な課題に問題意識を持ちながらストーリー構成を考えました。

本作では、医療制度との密接な関連を紐解きながら、介護保険制度のこれからの流れを読み解き、今後の「地域での困りごと」などをイメージできるように工夫していくつもりです。

ストーリーそのものは、好意的・批判的に読んでいただくことは読者にお任せして、生活の安心・安全のことについて、考え合う“きっかけ”になることを望んでいます。

なお、本マンガ制作にあたって、できるだけ批判的な表現を使用せず、事実のみが伝わるようにしたつもりです。したがって、本作で扱った新自由主義や時の政権などに関する評価はしていません。あえて細かい情報を省いていますので、読者の解釈と相違する部分があるかと思いますが、その点をご理解・ご容赦願います。（ご感想・ご意見・ご指摘等は随時お寄せください。）

# 一九五五年

※『国民総生産』の略称。  
国の経済規模を比較する  
指標のひとつ。  
昔はよく使われていたけど、  
今はあまりバツとしないかも。

日本国民1人当たりのGNPが  
戦前の水準を超えた



その背景に朝鮮戦争絡みの  
いわゆる『戦争産業』が関わっていた  
……てのは、まあ、一旦置いて

「もはや戦後ではない」  
昭和三十一年度の経済白書は  
こう結ばれる

一九七二年までの間に  
経済成長率は一〇%を達成  
GNPは四倍超に拡大

かつてないくらい  
日本経済は潤った

これが世に言う  
**高度経済成長**  
というやつだ



ありがたや〜

ありがたや〜

——ところが  
当時の首相・田中角栄は  
ある危惧を抱いていた

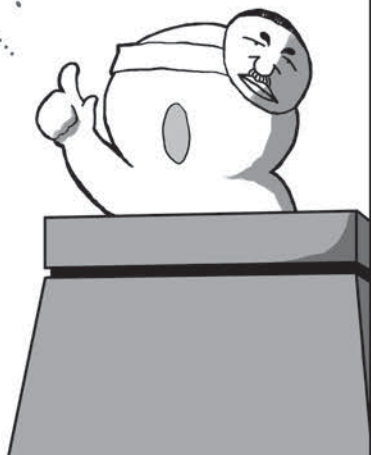
たしかに日本は成長した  
……しかしそれは  
都市部に限ったこと……  
若者の流出で地方は疲れ、  
我々の政権に不信感を  
募らせてつある……

——コレ  
次の選挙やバクね？  
ウチら負けるかも

そこで一九七三年、角栄は  
西欧に後れを取っていた  
社会福祉・社会保障を  
整えるべく  
『福祉元年』を宣言

70歳以上は自己負担ゼロ！  
年金水準UP！  
生活保護もUP！  
教員給与もUP！  
……

これで地方民のハートも  
キャッチだぜ——と思ったかは  
知らんけど、まあ、コレ自体は  
国民にとっても悪くない話だ  
ただ、この宣言を出した直後に  
想定外の事態が待っていてな——



# オイルショック到来

一九七三年十月六日に勃発した第四次中東戦争の煽りを喰らって石油どころか物価全体が一気に跳ね上がった

当然、景気は低迷

角栄の構想した福祉政策は高度経済成長の生み出す財源があつてこそのものであったわけだからもちろんタダじゃ済まないよな

どおすんのよオオ——ッ!!!

宣言しちゃったじゃん!

ちなみに、この時宣言していた内容はめっちゃくちや厚かった

ぶっちゃけこの国のピークだよだから金も相当に必要だった

※当時の角栄サイドの方々(イメージ)



## The FIRE

だが、まあ、「やる」と言ったからにはやらなきゃならない

財政的にはかなりの重荷……とはいえ早急に見直せばきっとできないことは……

一九七四年に戦後初のマイナス成長となり翌七五年に赤字国債を発行何とか持ち直そうと頑張った

そして、一九七九年——

※ざっくり噛み砕くと、去年より経済成長率が悪くなった結果財政が赤字になっちゃったんで、補うのに国債を発行しました～、てこと。

まさかの

## 第2次オイルショック!!!



まあ、こうしてアメリカ・イギリスにならない経済を最優先にする『新自由主義』の路線に移っていったんだ



新自由主義とは――

- ・政府はあんまり口出ししないよ!
- ・今まで行政がやってたサービスも民間でコロシクね!
- ・時代はグローバルだよ!
- ・みんな自由に競争していいんだよ!
- ・だから多少の格差は我慢してね!

ザ☆自己責任



※ 新・自由になった一例 ↓↓



国鉄→JR



電話→NTT

はろーしどにい?

(続く)

☆そして、この流れが「今」の社会保障制度を形作っていく――

## 「もう50年!!」

理事長 吉野 高幸



はじめに50周年ラッシュ!

1968(昭

和43)年、今

から50年前のこの年は、私の人生にとって出発点と言える年でした。4月に弁護士になり、その年のうちに4人の先輩弁護士と一緒に北九州市小倉で北九州第一法律事務所を創立しました。7月に結婚しました。

つまり今年私は弁護士生活50年(日本弁護士連合会が表彰してくれるとのこと。)、結婚生活50年(いわゆる金婚式ですね!)を迎え、私達が創立した事務所も創立50周年になるのです。

さらに私が弁護士として長年取り組んできた食品公害「カネミ油症事件」もその年に発生したので、今年が発生して50年になります。つまり私の周りでは今年が「50周年ラッ

シュ」状態なのです。

「長かったのか?」

あつと言つ間か?」

この50年を振り返ってみると…。

「大変長い道のりを歩いて来たなあ」という思いと「しかしあつと言つ間に50年たったなあ」との思いが交錯します。その結果として「まだまだ残された時間がある。しっかりと前を向いて歩いて行こう!」と思っています。

「弁護士生活50年、さまざまな事件とさまざまな人生に廻り合いました。」

はじめて「無罪」を勝ち取った刑事事件は筑豊での賭博事件です。私の依頼人は「賭博開帳図利帮助」、わかり易くいえば、賭博を開催した「胴元」の手伝いをした罪で起訴されたのです。「手本引き」という賭博だったのですが、私はその「手本引き」賭博の仕組みを調べて、依頼人が胴元の手伝いをしたのではないことを論証して無罪を勝ち取ったのです。しかし今では「手本引き」について何も覚えていません。

「母親がすり変わった!」

「ご主人を亡くした未亡人から相続の手続きを頼まれ着手しました。ところが、そのご主人の戸籍をたどると母親が途中で変わっているのです。さすがに私もビックリしました。調査してわかったのは、実の母親は早い時期に離婚して実家にかえり、再婚した継母を戸籍をどうにかして実母にしていたのです。そんな戸籍の「書き換え」が出来るの?との疑問がわきますが「事実上は小説よりも奇なり」なのです。

別に偉い人の「そんたく」をしたわけではないと思いますが…。話だと「小説より面白い」事件、人生に何度も廻り合ったことを思い出します。

「5男2女、無我夢中の子育て、無我夢中の人生」

私達夫婦は7人の子ども(5男2女)に恵まれました。妻には大変苦労をかけた(ある時、「5男2女より、もう一人の大きな子どもが一番手がかかった」と言っていました。それが、それには私は反論出来ません

でした。

しかし、私も子育ての一端は担っていたと思います。みな成人した現在「とにかくバタバタしていたなあ」とは覚えていますが、何が大変だったのか具体的には覚えていません。まあ「無我夢中」だったと思います。

「金婚式の次は?」

今年が金婚式ですが、金婚式の後はどうなるのでしょうか?私達はまだまだ元気に活動したいと思っています。皆さんも一緒に前を向いて歩いて行きましょう!!

## ふくし生協では、働く仲間を募集しています

「いい人がおるよ!」など地域組合員の皆様のご推薦もお待ちしています!

- 介護スタッフ…ヘルパー2級以上(未経験、資格のない方も可)
- 看護スタッフ…准看護師以上
- 訪問ヘルパー…ヘルパー2級以上

お給料や待遇など詳細は面談にて。

【お問い合わせ先】 本部事務局 〒812-0025  
福岡市博多区店屋町3-23 サカタビル2F  
TEL 092-282-1431

## シリーズ

## 「憲法とわたしたち」

No. 5

## 「健康権」は現代的基本権

なぜ、いま健康権なのか

「環境権」はよく聞いたことがあるでしょうが、「健康権」はあまり聞いたことがないかもしれません。

1970年代以降、住環境の侵害や自然環境の破壊に対し、環境権を主張した裁判闘争の住民運動が展開され、裁判では完全でないけれど「環境権」の権利性が容認されてきました。また、地球環境破壊が問題化され「環境権」への国民の関心も高いことから、憲法論議で一つの論点となっています。しかし、「健康権」については、薬害・食品公害の健康破壊への対抗や生活保護基準などの社会保障及び医療制度の面から主張されてきましたが、憲法学者の消極的解釈や裁判において直接的主張が展開されないなどの状況から、今日、本格的議論がすくないような気がします。

他方、前回述べた薬害スモンの後も薬害は続発し、生活保護の切り下

げ、医療制度の改悪などがまかり通っています。これらは、国民の人間らしく生きる権利の侵害として看過できません。また、過労死・過労自殺が依然として多発していますが、かつて、市役所労働組合運動の中で「軽んじられてたまるか働くもののいのちと健康」をスローガンに二人の市職員過労死認定と二人の過労自殺事件支援をたたかってきたものとして、今日の状況は許しがたく、労働者の「人間らしく健康に働きたい」という「健康権」を国民の現代的基本権として確立することを強く求めています。

## 最高水準の健康を享受する権利

## (国には保障義務)

国際人権規約は「到達可能な最高水準の健康を享受する権利」と規定しています。日本国憲法は25条で「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」と規定し、この権利を「生存権」と総称しています。最低

限度としたのは、ワイマール憲法の「人間に値する生存」に倣ったものですが、憲法制定議会で社会党の長谷川議員は戦前セツルメントで結核活動をした経験から「健康」の文言を明記することを強く主張したと言います。従って、「生存権」を基本権とするように「健康に関する権利」すなわち「健康権」も基本権としての意義を有していました。25条1項にいう「生存権」が裁判で具体的に保障される権利かどうかの議論では否定説が通説とされますが、この憲法解釈は人権認識が希薄といわざるを得ません。だから、「憲法は絵に描いた餅ではない」といわれるように、国民の要求運動の展開で、具体的に保障される権利として確立させなければなりません。2項の「国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない」は国が為政者に権利の具体的保障の義務を求めていると読むのが自然です。「健康権」を確立する義務が国にはあるのです。

「健康権」の中核のひとつは医療保障です。国民の医療要求を踏まえ、「健康の維持・増進、傷病の予

防、治療、リハビリテーションなどの包括的な医療サービスを、国民の権利として保障する制度」がその中身として考えられます。国際人権規約が「最高水準の健康を享受する権利」というように、到達した制度を時の政権の都合によって切り下げることは許されないとするのが、25条2項の正しい憲法解釈でしょう。国民の間には「権利」要求への遠慮が存在しますが、無くなってしまします。また、為政者は社会保障を施しとする思想を払拭せず自己責任論を説いています。これも自らの責任を放置する25条2項違反といわざるを得ません。憲法は活かし実現していくものです。

「健康権」は「人間らしく生きる権利」の基本であり、現代的基本権として保障されるべきものです。その実現は、ひとえに国民の運動にかかっていると強く思っています。

(過労死過労自殺と健康権は次号)

くさかべ やすひさ

日下部 恭久

九条の会福岡県連絡会)

## シリーズ

## 人生の高齢期を考える

## 住民税非課税とは

No. 35

前号で、遺族年金に関わる国保・介護税でとりあげた「飯塚市の例」で訂正箇所がありましたので、2018年度の改定にあわせ、訂正、加筆します。

「飯塚市の場合、65歳の一人所帯で年金が192万円(月16万円)とすると、国保税101700円、介護保険税95040円、あわせて196740円が天引きされます。

これが、遺族年金となると、住民税は非課税となり国保税(7割減免)20700円、介護保険税35640円(区分段階1)であわせて56340円、7割以上の減です。」

そのうえ、2018年度から、介護保険税の計算で、住民税非課税の人の合計所得金額から「年金収入に係る所得額」が控除されるようになりました。つまり、非課税の場合、年金所得(年金額1120万円)を合計所得金額から引くことになり、昨年度までの段階区分2と3は最も低い段階1に下がります。つまり、年金収入を所得計算からはずすことで、公的年金のみの非課税所帯は合計所得金額が0円になります。

(65歳からの合計所得金額とは、  
「公的年金1120万円」+「給与・給与所得控除」+その他の所得と考えてください)

遺族年金は金額の多寡にかかわらず非課税扱いですから、同じ年金額であっても課税扱いの年金受給者とは、税金、社会保障関係税で大きな差が生じます。

非課税とは、県民税(均等割)も市町村民税(所得割)も0になることです。非課税になると、所得税・住民税なし、介護保険税・国保税の減免、医療・介護費用の減免など、月々の年金から天引きされる公租公課が大幅に減ります。

行政や政治のあり方、お金の使われ方を見てみると、私たちも少ない年金を守るために自己防衛策を考えなければなりません。

## 住民税非課税になる年金額(収入)は

飯塚市では65歳で単身の場合、非課税枠の年金額は151.5万円以内です。これを超えると151.6万円では住民税課税となり、介護保険税95040円が徴収されます。65歳以上の夫婦の場合は所帯主201.9万円、配偶者151.5万

円以内だと非課税所帯になります。働いた場合の給与は一人65万円まで所得なしの扱いですから、夫266.9万円、妻183万円、計449.9万円までは非課税で暮らすことができるという計算にはなりません。

市町村では、非課税になる合計所得金額の上限が決まっています。単身で福岡・北九州市35万円、扶養家族がある場合は、「35万円×本人+扶養家族数+21万円」、飯塚市などは単身31.5万円、複数所帯①「31.5万円×本人+扶養家族数+18.9万円」となっていて、嘉麻市などは28万円と、3区分されています。

ところが、2020年度から、合計所得金額から引く基礎控除を現行の33万円(住民税の場合)から38万円に上げ課税所得を下げる代わりに、給与所得控除額を65万円から55万円に下げ、公的年金等控除を120万円から110万円に下げることが決まりました。これによって、健康保険税、介護保険税の計算に使われる合計所得金額が上がります。先の飯塚市の例では、非課税収入額が年金141.5万円以内、給与55万円以内に変更になり、基礎控除額が5万円上がっても、引かれる健康保険・介護保険の方が大きくなり、結局は年金の手取り額が減少

します。中でも現在の非課税所帯から課税所帯に変更される家庭は、相当な増税になるだろうと予測されます。

## 確定申告で税を考える

共働きの我家は30年も昔、3人の子どもが市の保育園に通っていた一時期、月11万円も保育料を支払っていました。二人の子どもをかわせている開業医の奥さんのお迎えは高級外車、私のは中古の軽自動車、園長さんが同情してそっと教えてくれました。「あちらは保育料が最低、お宅は大変ですよ」と、以来、税金のしくみに大いに疑問を持つてきました。

30年くらい前に、組合運動で防衛費分の還付申請に取り組んだとき、確定申告の仕方を覚えしました。以来、医療費や寄付金などの還付申請を続けていますが、65歳を過ぎて生活を支える年金から天引きされるさまざまな公租公課の大きさをより実感するようになりました。さらに2018年税制改正では2020年までに、給与や年金に関わる控除の内容が変更されています。

そうしたことを踏まえ、次号は、「確定申告」について、考えてみたいと思います。

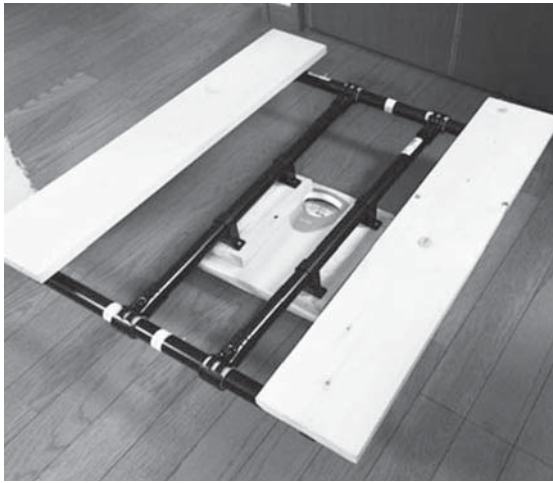
(次号に続く)  
(記・吉野道利)

# 支部・事業所だより

**若手職員の  
ひらめきで…**

当事業所（赤とんぼ）では長年、体重測定に悩んでいました。毎月体重測定の日を決めて体重チェックを行っていますが、車椅子の方や、その場に静止できないご利用者さんなどは正確に体重を測定できないのです。特に体重管理が必要な重篤な病気の方などは困っていました。

もちろん、職員が「お姫様抱っこ」して測定をおこなうという



ふくし生協  
直方市学童保育支援センター

## 十三学童のわ お別れバス遠足

去る三月二十八日（水）、直方市内十三の学童クラブの学童で、『お別れバス遠足』に行ってきました。

子ども三百九十五名・支援員五十六名・保護者ボランティア三十二名、総勢四百八十三名が十一台のバスで響灘グリーンパークに向かいました。



方法にも限度がありました。そうした中、当事業所若手職員のFさんが写真のような測定時に使うものを作ってくれましたので紹介します。

これがなかなかの優れたもので、利用者さんは車いすに乗っていただいたまま体重を量ることが出来ます。

また、最近さらに改良が加えられ車いすをスムーズに乗降させるためのスロープもつきましたので、便利度アップ、重宝しているところです。

（記・水巻事業所所長・藤田真弓）

当日は、雲一つない真つ青な空の下、午前中は広々とした芝生の上で四百八十三名みんなでレクレーション。一チーム一〇両編成（一〇人）からスタートし、先頭の人々がじゃんけんをして、負けたら勝った車両の後ろに繋がり、車両の先頭同士がじゃんけんを繰り返しながら繋がっていく「じゃんけん列車」。最後は四百八十三両（四百八十三人）の長い列車が完成しました。

最後にみんな輪になって、十三学童四百八十三人の「輪」を作りました。

お昼は楽しく桜の下で花見しながらお弁当を食べ、午後はボール遊びなどをしました。

冬のスポーツ交流大会に続いて合同バス遠足も、十三学童クラブの子どもたちの交流が出来ました。

子どもたちが学童で過ごした日々をふり返った時に、「学童は楽しかった！」と思いのひとつになってくれることを願っています。



（記・直方市学童保育  
支援センター事務局 藤廣麻弓）

## 「ペットも高齢化の時代」 可愛い家族の一員として…

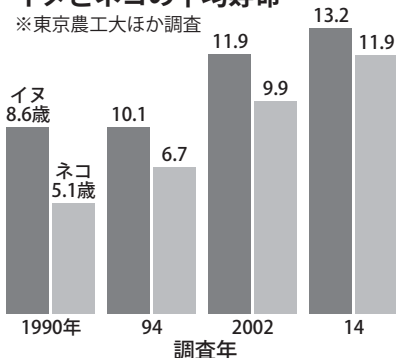
今や、全国の子どもの数よりもペット(犬や猫)の方が多いと言われています。そのイヌやネコなどのペットが長生きするようにになり、人間と同じように高齢化の時代がやってきました。

寿命が延びたのは、ペットの室内飼育が増えたことや、病気の予防、治療技術の向上、ペットの病院が増えたためと考えられます。

そして高齢化の裏で目立つようになったのが、ペットの生活習慣病です。例えば、糖質や脂肪の多い食事やオヤツの与え過ぎ、運動不足は肥満

### イヌとネコの平均寿命

※東京農工大ほか調査



や糖尿病など様々な病気の原因になります。可愛いペットですがモノ言わぬだけに、飼い主の注意と配慮が必要でしょう。

## 高齡協連合会 震災復興支援ツアー 2018年

募集

## あれから7年半、 被災地は今…!

◆日時:2018年9月9日(日)～10日(月)

◆参加定員:15名

◆参加費:20,000円(宿泊費込み)  
(食事代、移動交通費など、一部自己負担があります)



(大川小学校跡地)

※詳しい事は本部事務局へどうぞ!

◆申込・問合せ先◆

福岡県高齢者福祉生活協同組合  
住所:福岡市博多区店屋町3-23-2F  
電話:092-282-1431(代表)  
FAX:092-282-1433

## 読者のエッセイ

### カラスの行水 ぎょうすい

(直戸事業所・上月大輔)

汗を流す程度で、サツと湯舟(風呂)からあがる人のことを「カラスの行水」と聴かされていた。その実態は?とんでもない!『百聞は一見に如かず』である。

私の住む団地は200号線に近くバス停から500メートルもあるだろうか。整形病院があり、その裏の池の周辺は禁猟区で野鳥の憩いの場となっている。

ある日、水溜りでパシヤパシヤ

っているハシ太カラス。人さまから物好きと言われても仕方がないが、炎天下、汗も拭かずに見入った。5分、いやそれ以上ずっと水浴びをしていた。要するに羽虫を水で払い落す行為なのだと思った。病院裏池の10数年前の光景だった。



## 旅行記 タスマニア旅行

(水巻事業所・井上 忠)

妻と二人でタスマニアへの7日間(2月27日出発)のツアーに参加しました。

タスマニアは、タスマニアデビル(小熊の様な獣)他の独特な動物で有名です。オーストラリア(国)の中の一つの州ですが、本島の南方海上にあり北海道の約8割程度の広さを有する島です。

今回の目的地は、島の中のクレイドルマウンテン国立公園といわれる自然保護区です。



(タスマニアデビル)

旅で大変疲れましたが、国立公園では広い部屋のロッジに3泊しハイキングを楽しみ、また、自然な状態で保護、管理されている太古の植物や、タスマニアデビル、ウォンバット、ワラビーほかのオーストラリア独特の動物も間近に見、楽しい旅を満喫することができました。

## 第19回通常総代会 —— 近づく ——

### 総代会日程・会場

2018年6月17日(日) 10:30~16:00  
福岡国際会議場(4F: 411・412)  
(福岡市博多区石城町 2-1 TEL 092-262-4111)

- 福岡都市高速道路「築港出入口」降車
- 西鉄バス「国際会議場前」下車
- JR博多駅より……………タクシー 10分
- 福岡空港より……………タクシー 20分
- 地下鉄呉服町駅より……………徒歩 12分

### 総代会(議案)

- ・第1号議案 2017年度事業報告、決算報告、監査報告及び余剰金処分案承認の件
- ・第2号議案 2018年度活動方針と事業計画及び予算決定の件
- ・第3号議案 役員改選の件
- ・第4号議案 役員報酬限度額決定の件
- ・第5号議案 議案決議効力発生の件
- ・その他

## 2017年度ケアワーカー集会開催!!

### 事例を共有し、良い在宅ケアを実現しましょう

去る3月11日(日)、2017年度ケアワーカー集会がTKP小倉シティセンター(北九州市小倉北区)にて開催されました。今回のケアワーカー集会是『どうなる介護保険? 今問われる私たちの在宅ケア!』というテーマを掲げ、2018年度介護・医療報酬の同時改訂の内容とこれに対して私たちふくし生協が担っていくべき方向性について講演がなされ、参加した108名の職員の皆さんは真剣に聴講していました。

午前の部ではまず稲月専務の基調講演があり、今回の介護・医療の同時改訂の本質である「高齢者の退院を促進・誘導する医療報酬の導入により、病院から在宅(介護)への移行が加速していくこと」が説明されました。そのような情勢の中でふくし生協の強みである「24時間365日、看取りまで寄り添う在宅ケア」がそうした在宅ケアの受け皿となること。そして今それぞれの事業所で実践しているケアは私たちの強みを100%活かせる水準に達しているのかをこの集会を通じて見つめ直し、明日からの業務へ活かそうという課題提起がなされました。

午後の部では4つの分科会に分かれそれぞれのテーマについて深めあいました。

#### 第1分科会 人としての尊厳

第1分科会では日々のケアの中でご利用者の尊厳をどのように守っていくのかを深めるため、実際に悪いケアの事例の実演や利用者様への対応の仕方などの体験を通じた学習が深められていました。

参加者の皆さんは実演や体験を通じて日頃

のケアに問題が無かったかを見直す良い機会となりました。

#### 第2分科会 仕事の悩みとやりがい

第2分科会ではグループの中でお互いに「なぜふくし生協に入協したのか」など自己紹介から始め、今持っている仕事の悩みや仕事のやりがいなどの「思い」を共有する作業がおこなわれました。

その後、職場でのつながりについて提起がなされ、ふくし生協が同じ「思い」を持った人達の集まりであり、決して一人ではないということが伝えられました。

#### 第3分科会 頭に知識、手に技術

第3分科会では福祉用具会社のウェルファーン様、シンクロケアネット様から招いた講師より正しい福祉用具の使用法や他業種連携による病状の改善事例などが説明されました。参加者の皆さんは現場で必要な知識や技術を共有することや介護に関わる様々な業種の方々との連携の重要性に深く感銘を受けていました。

#### 第4分科会 地域のつながり

第4分科会では私たちの仕事地域とのつながりを広げていく事例として、「小規模多機能はばしらの運営推進会議の事例」や「直方事業所のゆいサポートによる買い物支援の事例」が紹介されました。普段の仕事から関わる地域の方々へのアプローチから更なるニーズの発生など大きなチャンスにつながることを強調されました。

今回のケアワーカー集会では全事業所より介護事例を募集し、午前・午後を通じて活用・共有をおこないました。寄せられた47の事例は職員の皆さんの日々の努力の賜物であり、誇るべきものです。

2018年度は私たちふくし生協の役割が一層重要視される年度となります。集会で得たものを明日からの業務に活かしていくことを期待します!

(記・世利)

## 読者の声

▼先号「リレーエッセイ」稲月専務理事の社会教育主事的視点での地域活動報告を読んで、ふくし生協の激励の中でこれほどのことをされたことに心から敬意を表します。私もかつて市役所時代、公民館と市民センターで社会教育の仕事をしていたこともあって、専務の凄さを新たにしました。

特に、地域の中で人を信頼して活動することが基調とされていることです。この哲学が今日のふくし生協をリードしてきた基本にあったのだとも改めて確信しました。

専務バンザイ!

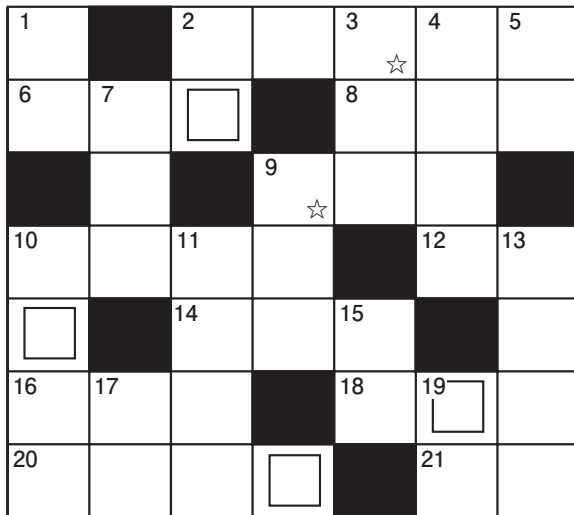
「ひやくさい」はよく読まれていますね。読者投稿はともいいですね。私の投稿「憲法と私たち」は、権利を実現しようと必死で頑張ってきた人を描きはしたのですが、少しは読んでいただいているのか心配です。

ふくし生協の介護(福祉サービス等)実践は、正に憲法に規定されている基本的人権の実現を確実なものにしていく実践にほかならないと思います。私も地域で生活の場で、みなさんと共に歩いて行きます。

(福岡市東区・日下部 恭久)

## クロスワードパズル

41



▼タテ、ヨコの《カギ》に従ってマス目に言葉を入れてください。ただし、右下隅に☆のあるマスには漢字が入ります。タテ、ヨコで漢字の読みは違っています。すべてのマスを埋め終わったら、二重マスの中の文字を並べて、(ヒント)にふさわしい言葉を作ってください。それが答えです。

- 《タテのカギ》
- 1 玄界灘と有明海に接している県
  - 2 瓶の口をふさぐのは?
  - 3 江戸時代には出島がありました
  - 4 建物の一部を作り替えること
  - 5 普段と変わりのないこと
  - 7 ヤード・ポンド法における長さの単位
  - 9 別府や湯布院など温泉が有名な「魏志倭人伝」によれば伊都国が存在したということ
  - 10 別府や湯布院など温泉が有名な「魏志倭人伝」によれば伊都国が存在したということ
  - 11 実際は存在しないのに、あるように見えるもの
  - 13 プロ野球のジャイアンツのキャンプ地としても有名
  - 15 言葉が示す内容
  - 17 物事が次々に出てくることを何のタケノコ?
  - 19 鳥獣の内臓
- 《ヨコのカギ》
- 1 将来性のある人
  - 2 耐え忍ぶこと、じつと
  - 6 俳句の季語を解説する「記
  - 8 おみくじ、これだといいな
  - 10 もてなし。酒
  - 12 赤と白、どちらの「が勝つかな?
  - 14 分かれ出たものの本体。運動の箱根駅伝、1月2日はここを競います
  - 16 黄色でフワフワの花を咲かせます
  - 18 今年のNHK大河ドラマの主人公はこの出身
  - 20 地球の衛星
  - 21 地球の衛星

《ヒント》  
今では全国的に  
大変な人気者です

完成した言葉と「ひゃくさい」の感想などをがきに書いて、「ふくし生協・広報委員会クロスワードパズル係」まで6月10日必着。正解者の中から抽選で5人にQUO(クオ)カードを送ります。

※出題(西日本新聞より引用)

■前回の答えは「オクルコトバ」でした。正解者多数につき、抽選で次の5人の方々にQUOカードを送りました。  
◆九十号クロスワードパズル当選者

- ・奥田 逸子さま(福岡市南区)
- ・村井 直樹さま(宗像市)
- ・野澤 啓子さま(北九州市八幡西区)
- ・富田 俊二さま(遠賀郡遠賀町)
- ・合屋美智子さま(糟屋郡粕屋町)

▼近くの公園の桜が美しく、もう見頃になっています。昨年は友達5人でお弁当持参で花見を楽しみました。もう一年経ちました。月日の早さを実感します。「みんなの文芸広場」の皆様の絵手紙を楽しみにしています。一生懸命さが伝わって元気をもらっています。

(八幡西区・野澤 啓子)

▼親が、体の不調を口にするのですが、病院に行きたがりません。何か良い方法があれば教えて下さい。

(福岡市早良区・かりん)

▼先号の記事「私の古い支度」を読

み、私自身の事を笑ってしまった77歳。「余生」の言葉は私の辞書にはない。50年間欠かさない超真面目なラジオ体操で体重は常に一定を保ち猫のようなしなやかさを武器に、天まで届く山に登り続け、ある日、プツン：が夢。悪い事も丸いとそれを楽しみ、ワクワク・キラキラ生きてますわヨ!

心はいつも18歳!!

(水巻町・江上 淑子)

▼初めてクロスワードパズルに挑戦しました。

(宗像市・村井 直樹)

▼先号の稲月専務のリレーエッセイ

を拝読しました。この度、北九州市長賞を受賞されました。誠にありがとうございます。これからも、お元気で「ふくし生協と地域づくり」にご尽力くださいますようお願い申し上げます。

(福岡市南区・丸山 玉枝)

▼広報誌「ひゃくさい」、毎回楽しい話題の記事をありがとうございます。これからも楽しみにしています。

(福岡市南区・奥田 逸子)

▼やつと寒い冬が終わり明るい日差しがまぶしい季節となりました。満開の桜花の美しさに感動し、名も知らぬ草花や木の芽も美しくなりました。

この春の陽気に、私達も誘われ何かしら成長へのエネルギーを与えてくれている様に思います。

(福岡市早良区・林田 明代)

▼私も、水墨画を少し習っていますので「みんなの文芸広場」に出品したいと思いました。

(遠賀郡遠賀町・富田 俊二)

▼シリーズ「人生の高齢期を考える」『遺族年金について』、年金から差引かれる税が増す中、これからの生活が不安です。

(糟屋郡粕屋町・合屋美智子)



▲ほのぼの消しゴム版画作品  
(版:加治美千代 字:鶴田輝子)



▲吉住智江(水巻町)

ご投稿ありがとうございます。

# みんなの 文芸 広場



▲中野よしの(水巻町)



▲山田安子(水巻町)



▲花井美知子(水巻町)



▲永田ヒサコ(水巻町)

## 俳句

## 投稿俳句と川柳・短歌

丸山玉枝 (ミナミ・デイサービス)

厳寒の 氷も溶かす 五輪熱  
雪景色 幼なき日々の 夢広場  
紅梅や ときが来たと 二輪咲

木本末子 (ミナミ・デイサービス)

リハビリを 頑張る我に 桜吹雪  
爪を切る 力も失せし 春の暮



▲三笠郁枝(水巻町)



▲江上淑子(水巻町)

## 川柳

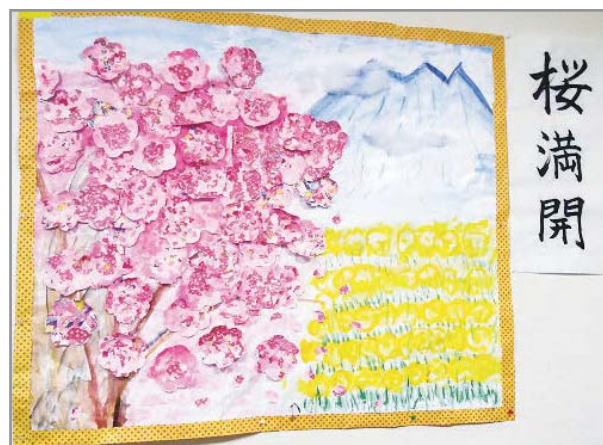
伊藤幸雄 (給食センター)

初詣 願いはひとつ モテ爺や  
老いて尚 空ろな夢か 片想い  
監督の サイン無視での ホームラン  
引き出しに 黒い花びら 紅い嘘

## 短歌

好 (ミナミ・デイサービス)

老健へ 進まぬ足を 引きずって  
今日は見舞ぞ 明日は我身か  
仲良くて 無理にやっても あたり前  
たのまぬ事は いらぬ事だと  
高齢で 病となりて 耳にする  
ホームへの不安 疱疹語る



▲ミナミデイの皆さんの貼絵作品